



この内容に関連する資料はこのQRコードから

修正動議とは

市長から議会に議案の提出があった場合、委員会等で審査し、議決を行います。議案の内容に対し、議員は必要に応じて議案を修正することができます。その事を修正動議といいます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内で修正案を添えた「修正動議」を提出し、委員会でも市長から出された原案と動議で出された修正案の審議をおこない採決をおこないます。

予算審査特別委員会で修正動議を提出

市長は、市民チャレンジ応援のため5%の市民税減税を掲げていますが、仮に5%の減税を行った場合8,970万円が財源不足になります。来年度以降実施するに

ろ、不足する財源の補填をどうするのか。この課題について修正提案を行いました。

修正動議を提出した理由は次の4点

- ①個人・法人の5%減税によって不足する財源を何で補填するのか説明が必要。
- ②補正予算案の減税に関する助言者の費用が挙げられており、検討するのであれば想定される内容の説明が必要。
- ③個人・法人の5%減税は名古屋市を参考にしたとのことであるが、名古屋市は自動車産業が集積されて大きな税収基盤があること。また基金の活用や行財政改革を行い、減税施策を進めており、福津市と条件・状況が違う政令都市でもある

財源の確保は



いつまでに



名古屋市を根拠に挙げて検討するとのことであるが整合性が取れていない。また名古屋市では減税は継続して実施しており、継続することについて、課題も挙げられている。

④5%減税の為に庁内プロジェクトチームを立ち上げ、進めるとの説明があったが、職員の業務が増大しており、負担がかかる。それらを解消するための業務のデジタル化が進められており、その進捗状況を見極め進めるべき。

修正動議は不採択

財源確保が不透明であるため、個人市民税・法人市民税5%減税を検討するための事業費28万円について予算から削除するよう修正動議を提出しました。残念ながら賛成少数で採択されませんでした。財源確保もきちんと盛り込まれた減税施策となることを願います。

●市長が掲げた5つの指針に対して総括質疑

1. 次世代の人材育成

福岡中学校区選択性や校区外通学制度の対策。こどもに係わる医療費や第2子以降の保育料、学校給食負担の無償化。市長給与の10%カットによる財源の活用。

2. 産業と環境で未来を創造

商工業・農業・水産業・観光業を融合した新たな地域の総合産業の創出。

3. 安心安全な共生社会の実現

インクルーシブ保育・教育などの障がい者に対する支援。オンデマンド交通の導入など移動手段の確保。災害に強い地域づくり。

4. 市民のチャレンジを応援

個人・法人市民税の5%減税。稼げるまちづくりに向けた環境整備。

5. 活力ある市役所の実現

DXによる新たなサービスの実施。職員との対話による行政諸課題の解決。

